

監修/写真提供: 笠井耳鼻咽喉科クリニック 院長 笠井 創 先生

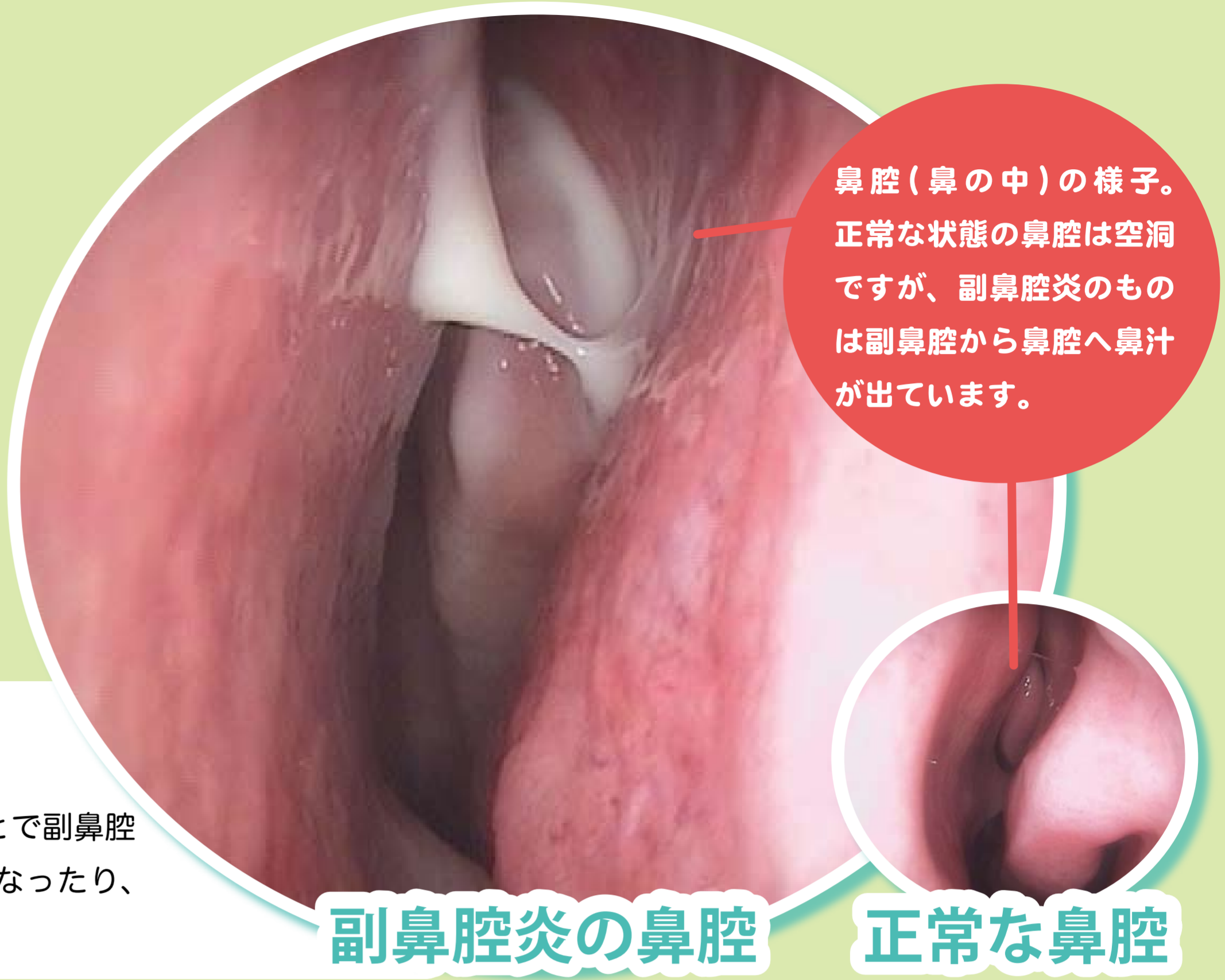
黄色い粘り気のある鼻汁や痛みが特徴

副鼻腔炎

副鼻腔炎は急性と慢性の2つのタイプに分かれ、それぞれ症状や治療方法が異なります。

副鼻腔内の粘膜に炎症が起こることが原因!

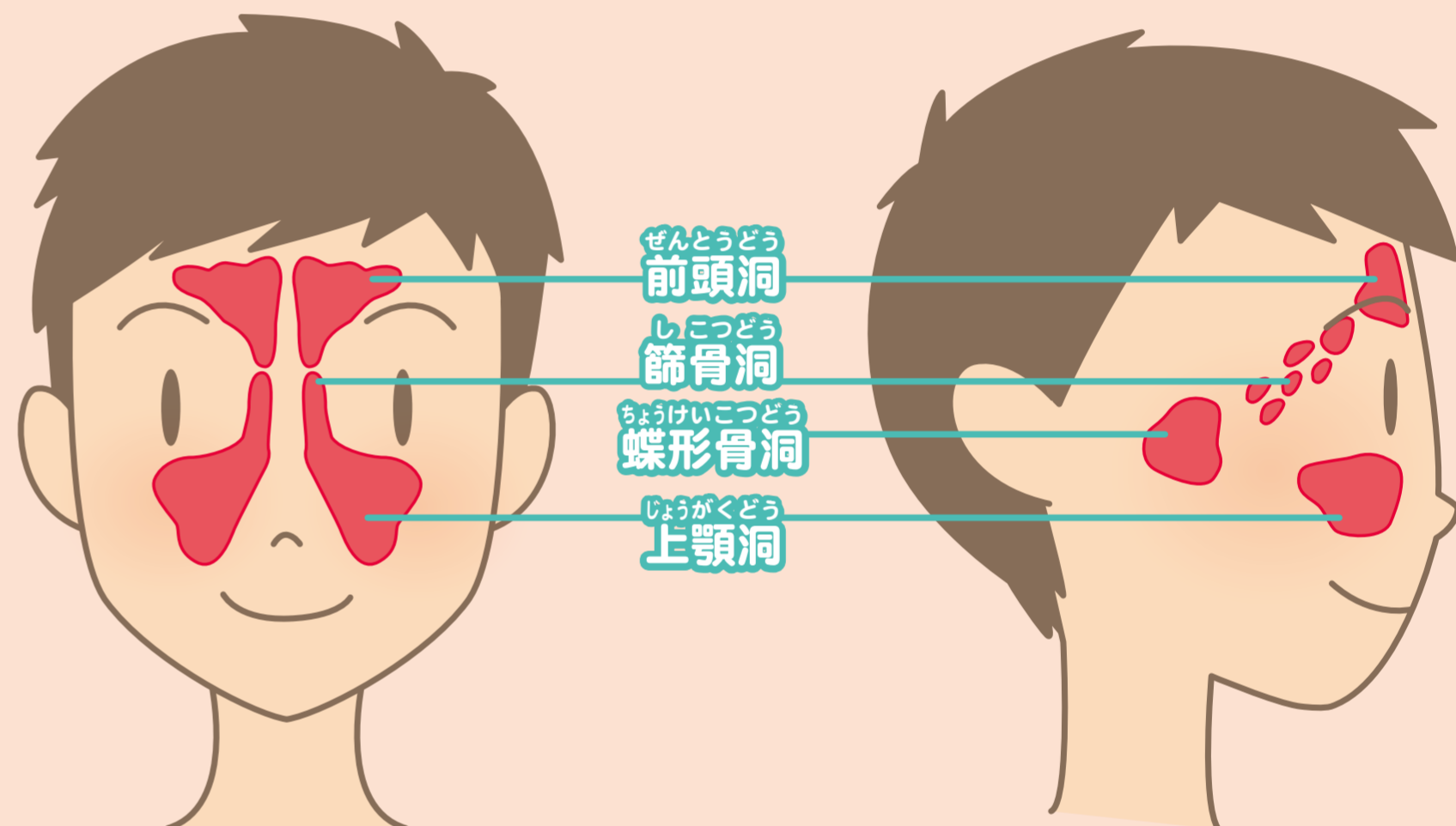
かぜなどから粘膜に炎症が起き、それが鼻腔から副鼻腔に広がることで副鼻腔炎が起こります。副鼻腔内の粘膜が腫れて厚くなり、分泌物が多くなったり、そこに細菌の感染も加わって、膿となって溜まるようになります。



炎症が起きている場所によって痛みが起きます

副鼻腔は鼻や目を取り巻くようにしてある大小いくつかの骨の空洞で、これらは鼻の中に接しています。

- ぜんとうどう 前頭洞...おでこの痛み
- しこつどう 篩骨洞...目と目の間や目の奥の痛み
- ちやうけいこつどう 蝶形骨洞...頭痛
- じやうがくどう 上顎洞...頬や歯の痛み



その他にも副鼻腔炎にはこんな症状が

急性副鼻腔炎



かぜをひいたときの急性鼻炎に引き続いて、粘膜の炎症が鼻腔から副鼻腔に広がり起こります。

慢性副鼻腔炎



多くは急性副鼻腔炎が慢性化したものです。その他の原因は複雑で、遺伝的体質、アレルギーなど、いくつもあります。

鼻風邪が2週間以上続く、痛みがあり黄色い鼻汁がでる、などの症状は副鼻腔炎を疑い病院に行きましょう。慢性化すると症状が悪化して、鼻ポリープなどにも繋がってしまいます。